

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	重合カテキン含有香煎茶による脂質異常症に対する効果の検証				
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	森本 達也
	研究分担者	薬学部・講師	刀坂 泰史	静岡市立静岡病院・病院長	小野寺 知哉
		薬学部・講師	砂川 陽一	市立島田市民病院・病院事業管理者	青山 武
		薬学研究院・博士4年	清水 果奈	浜松労災病院循環器内科・部長	篠田 英二
		薬学研究院・博士3年	清水 聡史	聖隷三方原病院・副院長	森田 達也
		薬学研究院・博士3年	清水 清貴	清水厚生病院・副院長	森脇 秀明
		薬学研究院・修士1年	鳴田 竜也	静岡市静岡医師会・理事	鍋木 敏志
		静岡県立病院機構・理事長	田中 一成	国立病院機構京都医療センター・部長	長谷川 浩二
	発表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	森本 達也

講演題目	重合カテキン含有香煎茶による脂質異常症に対する効果の検証
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>肥満改善効果があるとして有名な黒ウーロン茶について、有効成分についての研究が行われ、黒ウーロン茶に含まれる重合ポリフェノールが、リパーゼ阻害作用を持ち、小腸からの脂肪吸収をおさえることにより痩身効果を持つことが明らかとなった。また、脂質異常改善効果や耐糖能改善効果も報告されている。そこで、我々は、重合ポリフェノールの含有量の多い茶を探していたところ、日本や中国で飲用されている香煎茶に重合ポリフェノールが多く含まれることを見出した。そこで本研究の目的は、脂質異常症の患者に香煎茶を飲用していただき、脂質異常症改善効果があるかを検討することである。</p> <p>本臨床試験は、静岡県立大学が中心となり、静岡県内の病院や医院との共同研究で、多施設共同・プラセボ対照・無作為化・二重盲検・比較試験で行う。対象患者には、文書および口頭による十分な説明を行い、患者の自由意思による同意を文書で得たのち、試験に参加して頂く。試験計画の要約を下記に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目的：脂質異常を有する患者を対象に、香煎茶による脂質異常改善効果を検討する。 2. 対象：下記、(1)及び(2)のを満たす者 <ol style="list-style-type: none"> (1) 年齢 20才以上80才未満（男女不問） (2) LDL-C 120mg/dl以上あるいはTG150mg/dl以上の脂質異常患者（治療中も含む） 3. 試験デザイン：市販されている香煎茶 3 g とプラセボ（茎茶） 3 g のティーパックを固定用量とする連日投与（二重盲検無作為化群間並行比較試験） 4. 試験方法 <ol style="list-style-type: none"> ① 使用検体：香煎茶 またはプラセボ ② 投与方法：3 g を 100 ml のお湯で抽出し、1日3回毎食後飲用する。 ③ 投与量および投与期間：上記茶を割り当てにしがたい、24週間内服する。 ④ 併用禁止薬：無し ⑤ 主要評価項目：LDL-C、TG、HDL-C 副次的評価項目：酸化LDL 5. 目的症例数：60例（香煎茶群30例、プラセボ群30例） 6. 実施期間：試験開始より1年9ヶ月 <p>カテキンは緑茶に豊富に含まれるフラボノイドの1種で、血圧上昇抑制作用、血中コレステロール調節作用、血糖値調節作用、抗酸化作用など多くの生理活性が報告されている。静岡県は緑茶生産量、1人あたりの消費量も日本一であり、カテキンについて静岡県立大学をはじめ多くの研究がなされている。本研究により安価ですでに安全性が確認された香煎茶を用いた脂質異常症の新規治療法が開発されることが期待され、地元に対する経済効果も大きいと考える。この新しい治療法の臨床応用により、死亡原因の上位に位置する心臓病死の減少、心臓病患者のQOLの向上、さらには医療費の削減に大いに貢献することができると考えられ、社会への貢献は極めて大きい。</p>